

国語「慣用句を使ってみよう」 (協同学習)

7月12・13日に、3年生は、国語科で「慣用句を使ってみよう」の学習をしました。慣用句について知り、意味や使い方を理解するのがねらいです。

まず、慣用句クイズをして、「慣用句とは、二つ以上の言葉が結びついて特別な意味を表す言い方」であるということを勉強しました。そして、例として「ねこの手もかりたい」という慣用句について、どんな意味なのかを考えました。



次に、「羽をのばす」という慣用句について、意味を考えました。一人で考えた後、班ごとに意見交流をしました。意見交流は、「話し合いのしかた」の流れにそって行い、話し合う練習にもなりました。また、自分で考えるだけでなく、友だちの意見も聞くことで、より深く考えることができました。

最後に、辞書を使って正しい意味を調べました。「おさえられていたものからはなれて、のびのびと自由にふるまう」という意味を知り、子どもたちは、満足そうにしていました。

